

Remarks by the Judges

日汉互译【通用】竞赛单元点评人文稿



2020 中华笔译大赛
2020 CHINA WRITING TRANSLATION CONTEST
—— 联合国官方支持赛事 ——
A COMPETITION OF THE JUDGES OF THE JETFLU AWARDS

2020 中华笔译大赛

袁 勇

日本前首相鸠山由纪夫唯一指定翻译；曾在中国大阪总领事馆及外交部亚洲司从事翻译、对日外交工作，长期担任中国国家领导人日语高级翻译。

コメント

この度、2020 中華翻訳コンクールのコメンテーターにお招きいただき、誠に光栄に存じます。長年翻訳・通訳に従事してきた者として、上海策馬翻訳有限公司が2年連続して同コンクールを主催し、全国翻訳学習者にこのような素晴らしい切磋琢磨のプラットフォームを提供したことに感謝を申し上げます。翻訳は教科書による理論勉強だけでは決して足りなく、実践を通じて経験を積むことも大事であります。そういう意味で、成績がどうであれ、今回のコンクールに参加した皆さんにはきっとそれぞれの収穫があったと思います。コンクールのご成功、おめでとうございます。

さて、コンクール事務局のご指名で、決勝戦の訳などについて一言コメントをさせていただきます。まず原文である中国語と日本語の文章は昨今の経済と社会の発展トレンドをうまくキャッチしていると同時に、翻訳そのものからしても多様な文章構造、単語使用があるため、翻訳能力の測定にふさわしい例文だと思えます。正に、理論面と実用性を併せ持った原文の選択であります。一通り選手の答えを読ませていただいた感想として、「上、中、下」のランクで採点するならば、「中」にさせていただきたいと思えます。全体的に見れば、1番と6番の選手の答えがまずまずであります。原文に対する理解も、訳語の選択も基本的に他の選手より少し優れています。が、完璧な訳まではまだまだ距離があるかと思えます。ここに、主に選手たちの訳の問題点に絞ってコメント

させていただきます、ご参考になればと思います。

大きく言えば、5つの問題があります。具体的に：

1、基本的な日本語の語学力がまだ十分でなく、レベルの低いミスが少なくありません。

(1) 助詞の使い方が混乱しています。例えば、「要求を応える」(正しいのは、要求に応える)、「センターに通じて」(正しいのは、センターを通じて)、「方面に重視する」(正しいのは、方面を重視する)、「経営をサポートする」(正しいのは、経営をサポートする)、「するを通じて」(正しいのは、するのを通じて)などがあります。これらはいずれも基本中の基本ですから、ここで間違えればいい訳文に決してなれません。千里の道も一歩より、皆さんは格好いい役者を目指すには、まずこのような基本的なことを身に着けないととても無理です。

(2) 動詞の使い方にも大きな問題があります。他動詞と自動詞の区別がつきません。例えば、「を育つ」(正しいのは、を育てる)、「を移る」(正しいのは、を移す)。また、動詞の形態をも間違えています。例えば、「強化させる」(正しいのは、強化する)。

(3) その他。例えば、「14つ」(これは許されない間違いです。)、 「大きいに」(正しいのは、大いに)、「ためなもの」(正しいのは、ためである)。など

以上は翻訳のテクニックというより、日本語の最も基本的なもので、訳者にあるまじきミスです。二度と許せません。

2、長い文特に日本語の長文のロジックに対する理解力に欠けており、半分以上の選手が長文の訳で失点しました。これは多くの人に共通している問題です。特に、「製品、ネットワーク、プロセス構造の柔軟性 * * * * * サプライチェーンの再構築が求められるであろう」という長文で、三分の二以上の選手がその前後関係をうまく捉えておらず、ロジック的なミスを犯してしまいました。解決方法としては、まず様々の修飾文にとらわれずにこの長文の最も基本的な構造を掴むことです。ここでは、「* * *を確保するためには、* * * サプライチェーンの再構築が求められるであろう」がこの文の根幹です。これを見付けると訳が簡単になります。* * *の部分はそれぞれの修飾

になります。訳し方については、長文をいくつかの短文に分割して訳すのがお勧めです。訳者の皆さん、これから意図的に長文の翻訳にチャレンジし、練習から経験を積んでください。

3、選手たちの言葉使いから単語の量が乏しく、異なる分野への知識がまだ足りないことが伺えます。

(1) プロの役者になるためには、「タコ精神」を身に着けることが重要です。つまり、タコがすべての足をそれぞれ違う方向に出して、獲物になりそうなものをキャッチするように、訳者も自分の神経を外部のいろんなものに向け、敏感に反応し、「この言葉は日本語をどうやって日本語に訳すのか」と常に自分に言い聞かせて、日々練習することが求められます。そうして語彙の量も増え、知識も広がり、いざ翻訳の仕事が来ると、落ち着いて対応することができます。

(2) 一部固有名詞については、単語として決まっていますから、日々の蓄積と暗記が必要です。例えば、「工業革命」の日本語訳は「産業革命」、「世界工場」の日本語訳は「世界工場」、「智能制造」の日本語訳は「スマート製造」となっており、ほかの訳をせずそのまま覚えて使うのがいいです。これにも「タコ精神」による日々の努力が求められます。

(3) また、単語の意味を正しく深く理解することが大事であります。一見意味が近そうに見えますが、実際に使ってみると全然違うニュアンスになってしまう場合があります。今回のコンクールでほぼ全滅と言っているほどの共通問題があります。それは「特化する」、「伸ばす」の二カ所で顕著に表れています。「に特化する」の正しい意味は「あるて特定の部分に重点を置くこと」であり、中国語でいうと「聚焦于或将重点放在」になり、ほとんどの選手が間違っており、採点した先生も指摘できなかったことが残念でなりません。同じく選手も間違い、先生も見つけられなかった所もあります。「地方や中小企業を伸ばす」であります。ここでは、「を伸ばす」の意味は「延伸」ではなく、「舒展、壮大或者发展」の意味であります。

私が申し上げたいのは、同じく漢字を使っている日本語は中国語によく似ていますが、また微妙に違うところもあります。例えば、「項目」、「促成」、「作用」など、選手たちがそのまま日本語に

直しました。実は原文と意味がかけ離れています。また、「企み」という日本語を使っている人もいますが、これはマイナスな意味があり、今回の原文のトーンとは違います。従って、中国語にとらわれずに、日々の蓄積と上下文章の文脈の流れに頼って最もふさわしい訳を考える必要があります。「言うは易し、行ふは難し」に言われるように、なんといっても日々の努力が不可欠です。

4、選手たちの日本語の表現が中国的で、日本語らしさが足りません。多くの人は中国的のロジックあるいは言葉使いで日本語を表現していますので、時々不自然で固い所が見当たり、日本人が馴染みやすい日本語とは言えません。例えば、「制高点」を「高地」に訳してしまったこと。日本字が読めばあまりピンと来ないかもしれません。ここでは、「集積地」に訳した方が本来の意味が伝わります。やはり、普段オリジナルの日本語文章をよく読み、日本人的な発想で理解する練習が必要になります。

5、最後に、一つ注意しておきたいことがあります。翻訳する時にどうしても分からなくても、決して勝手に根拠なく言葉を作ってはいけません。今回の選手たちの訳文にはこの問題が多く見られました。例えば、「战略、范围、项目（日本語の中でそのまま中国語を使っている）、製高点、嵌入式、启动、培育、摇床（そもそも日本語にない）」。また勝手に意味に影響するような修飾語をつけたりするのもよくありません。原文では、「重要である」となっていますが、一部の選手は「极为重要」に訳しており、「极为」を勝手に入れました。これらは翻訳として慎重さと真面目さが見られず、極めて不適切な処理ですから、よく気を付けてください。また翻訳は通訳と違って、意味を文字にして伝達する必要がありますから、なるべく書き言葉を使用することを心構えてください。

以上、事務局のご指示で2020 中華翻訳コンクール日本語部の結果への私のコメントです。あくまで個人的な感想に基づくもので、正しくない所があるかもしれません。これを捨て石に、より多くの専門家、そしてプロの訳者にご批評いただき、より多くの若者に翻訳の世界に入っただき、日本語勉強の機運を高められたらと切に願っております。

どうもありがとうございました